

# 調査研究活動実績

一燈立志の会 代表 大石 宗

令和元年度の政務調査費研究に関する主な活動の実施状況を報告いたします。

## 1. 郷土歴史人材を活かした観光振興と教育振興に関する調査研究

郷土の歴史人物である山田方谷を活かした街づくりに取り組む岡山県高梁市を視察、記念館、石碑などの施設整備、学校教育との連携、生涯教育、経営者教育、観光振興など多岐にわたる事例について調査研究を行った。

## 2. 社会福祉の充実についての調査研究

四万十市における就労継続支援 B 型事業所の視察と保護者の皆さんとの意見交換、合わせてグループホームの経営状況について調査研究を行った。

特に、「親亡き後」の課題については、様々な課題が見えて来た所であり、引き続き研究を進めていく。

## 3. 戦没者遺族援護事業についての調査研究

各地の遺族への現状の聞き取り、県内慰霊塔・忠霊塔等の現場調査、本県出身部隊が赴いたパプアニューギニア並びに沖縄県八重山郡竹富町の視察も行った。

戦後74年が経過し、記憶も薄れていると同時に、慰霊碑や忠霊塔など引き続き管理を続けていかなければならない施設についての課題も明らかになった。

合わせて、歴史資料となる関連資料の保存や兵籍簿の取り扱いについても、歴史民俗資料館、高知城歴史博物館、高知市立自由民権記念館、公文書館などの取り組みについて調査研究を行った。

## 4. 一次産業の振興についての調査研究

一次産業への IoT 技術の導入について、漁船における機関設備の管理システム、大規模次世代型園芸ハウス、ドローンの農業と漁業への活用について調査研究並びに関係者との勉強会を行った。

また、大川村を視察し、畜産による町興しと新設した処理場の経営状況についても調査研究を行った。

また、県内畜産のこれからを考える上で重要な処理場の問題について、四万十町の養豚農家、JA 関係者、食肉流通業、小売業の経営者などとも意見交換を行うと共に、食肉センターの現場視察も行った。

また、カツオマグロ漁に関する人材確保、漁船の設備向上、漁獲制限の問題等についても、現場視察と関係者との意見交換会を実施した。

## 5. 働き方改革についての調査研究

RPA の導入による働き方改革について調査研究を行った。

民間企業への導入について可能性調査を行なったが、当面は公共分野での導入を先行し、その実績評価を参考に民間分野に展開すべきではないかと感じた。

## 6. 公共交通についての調査研究

県内交通事業者への聞き取り調査と意見交換、中山間の交通対策についての現場調査を行った。

また、JR 四国の取り組む観光列車の取り組みについても視察、経営陣との意見交換も行い、今後の高知県内での運行実施についての調査研究を行った。

## 7. 地方自治制度についての調査研究

大川村において村執行部並びに村議会議員から議員総会制度の議論の経過のヒアリングを行うと共に、小規模自治体における諸課題について意見交換を行い、今後の地方自治制度のあり方について調査研究を行った。

また、京都市内において他都府県の地方議員と勉強会を行い、各地の地方議会の状況について調査研究を行った。

## 8. コロナウイルス対策についての調査研究

高知県議会新型コロナウイルス対策調査特別委員会での活動に資するため、現状の影響と今後の課題について、県民や事業者からの聞き取りを始めとする調査研究を行なった。

## 9. 県民への広報事業の実施

会派広報誌並びに HP の作成と配布を通し、県民への県政の広報事業を行った。

以上